

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	災害時公衆衛生従事者緊急派遣等システム開発経費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	がん対策・健康増進課地域保健室		政田 敏裕		
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-8 健康危機管理体制を整備する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	災害時の情報を迅速に把握するとともに、迅速で計画的な支援体制を確立することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	災害時の被災者の健康管理を円滑に行うため、情報通信技術を活用して、健康に関する情報の共有化するためのシステム構築。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	/	/		
		補正予算	/	/	37	/		
		繰越し等	/	/	/	/		
		計	/	/	37	/		
	執行額	/	/	28	/			
	執行率 (%)	/	/	75.7	/			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	災害発生時の被災地での情報体制を確立するためのネットワークシステムの整備であり、成果実績にはなじまない		成果実績		-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	災害発生時の被災地での情報体制を確立するためのネットワークシステムの整備であり、成果実績にはなじまない		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
					-	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計	/	/					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	災害時の被災者の健康管理を円滑に行うため、情報通信技術を活用して、健康に関する情報の共有化するためのシステムの構築は、次の災害に備えるための優先度の高い経費である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	災害時の被災者の健康管理を円滑に行うため、情報通信技術を活用して、健康に関する情報の共有化するためのシステム構築は、国で実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	システム開発において、競争入札で行われたため、当初の見込みより下回ったため。
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	競争入札により選定しているが、一部随意契約で行っている。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	-
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	災害時の健康管理に関する情報の共有化するためのシステム構築費に限定している。
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	-
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	-
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	-
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	今後の災害時に備え、システムを活用した研修を行い、活用していく方向である。
点検結果	<p>災害時の被災者の健康管理を円滑に行うため、情報通信技術を活用して、健康に関する情報の共有化するためのシステム構築経費であり、23年度において、システム開発を行うことができた。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
-	-		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	復興-38

厚生労働省
28百万円

災害時公衆衛生従事者緊急派遣
等システムの執行管理

国立保健医療科学院
28百万円

災害時公衆衛生従事者緊急派遣等シ
ステムにおける契約者

【一般競争入札】

A.民間企業
大日テクナ 0.4百万円

B.民間企業
株式会社 Nec ネクサ 4百万円

災害時公衆衛生従事者緊急派遣
等システム仕様書作成支援

災害時公衆衛生従事者緊急派遣
等システム開発

【随意契約】

C.民間企業
(株)マイクロソフトCRM 9百万円

D.民間企業
(株)NIS 7百万円

E.民間企業
(株)ソニー 7百万円

被災者情報を個別IDするための
ソフト

先遣隊の派遣幹旋先や協議のた
めの遠隔会議システム

被災者情報を個別IDで管理する
ためのICチップ入りシール
先遣隊・健康支援チームを個別
で管理するためのICカード

F.民間企業
(株)パナソニック 1百万
円

G.民間企業
(株)日本HP 0.9百万円

H.民間企業
(株)八重洲無線 0.5百万円

被災地や避難所の現状を画像と
して報告するための機器

研修用データを搭載するための
サーバ

情報交換用トランシーバ

I.民間企業
オンキヨー(株) 0.4百万円

被災地での入力用パソコン

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.(株)ソニー		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
			雑役務費	ICチップ入りシール・カードの購入	7
計		0	計		7
B.株式会社 Nec ネクサ			F.(株)パナソニック		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
開発費	災害時公衆衛生従事者緊急派遣等システム開発	4	雑役務費	画像報告機器の購入	1
計		4	計		1
C.(株)マイクロソフトCRM			G.(株)日本HP		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	被災者情報を個別IDするためのソフトの購入	9	雑役務費	研修用データ搭載サーバの購入	1
計		9	計		1
D.(株)NIS			H.(株)八重洲無線		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	先遣隊の派遣斡旋先や協議のための遠隔会議システムの購入	7	雑役務費	情報交換用トランシーバーの購入	1
計		7	計		1

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大日テクナ	システム仕様書作成支援	0.4	3	33.3

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	Necネクサ	システム開発経費	4	3	33.3

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)マイクロソフトCRM	個別IDソフト	9		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)NIS	遠隔会議システム	7		

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ソニー	ICチップ入りシール、ICカード	7		

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)パナソニック	画像送信機器	1		

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本HP	研修用データ搭載サーバ	0.9		

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)八重洲無線	情報交換用トランシーバー	0.5		

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	オンキヨー(株)	被災地で使用する入力用パソコン	0.4	随意契約	